

かたし降りてるの玉の珠  
ちりのせむ花より衣ぬきか  
うらすしき曇後の神

○嘉永五壬子年

風有風無百日晴火附盜賊猥横行  
朝聽山手盤木御音暮驚下町半鐘鳴  
龍吐水砲如雨聲家根板在點滴清  
門並用水湛軒下行莫家持不寐番  
浴室髮結止夕陽屋臺千店限初更  
街吏傷心退役廉而市中慎失遠島名  
音信年礼闕人情風烈出涉高不成  
可憐天秤一捧主連日空午困不輕  
柝木巖然打時正鉄棒凜々桃灯明

